

# 平成 26 年度 大学等におけるインターンシップ実施状況について

## I. 調査内容

- (1) 調査時期 : 平成 27 年 8 月～9 月
- (2) 調査対象 : 大学 (776 校 (学部 752 校・大学院 627 校))、短期大学 (346 校)、  
高等専門学校 (57 校)
- (3) 対象期間 : 平成 26 年度 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)
- (4) 回答率 : 98.5%

※本調査において「インターンシップ」とは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」としています。

## II. 調査結果(概要)

### 1. 単位認定を行うインターンシップと単位認定を行わないインターンシップの合計

#### (1) 学校数・割合

インターンシップを単位認定している※<sup>1</sup> 大学 (学部・大学院) と単位認定はしていないが学生の参加状況を把握・関与している※<sup>2</sup> 大学 (学部・大学院) の合計は 740 校 (95.4%) ※<sup>3</sup> (昨年度 730 校 (94.0%) と比較して 10 校 (1.4 ポイント) 増加)。

※<sup>1</sup> 特定の資格取得に関係するもの (例: 教育実習、看護実習、臨床実習等) を含む。

※<sup>2</sup> 授業科目以外 (正課外) で行われるインターンシップであり、大学等を通じて対応しているもの (大学等のキャリアセンター等が窓口となって組織としてインターンシップの紹介・斡旋するなど大学等が把握・関与しているもののみ) を指す。以下同じ。

※<sup>3</sup> 単位認定を行うインターンシップと単位認定を行わないインターンシップ のいずれか又は両方を行っている大学の合計。

#### (2) 参加学生数・参加率

単位認定されるインターンシップ※<sup>1</sup> と単位認定されないインターンシップ※<sup>2</sup> に参加した学生 (学部・大学院) の合計は 580,365 人 (20.7%) ※<sup>3</sup>。

※<sup>1</sup> 特定の資格取得に関係するもの (例: 教育実習、看護実習、臨床実習等) を含む。

※<sup>2</sup> 大学が把握・関与している分のみ。

※<sup>3</sup> 参加学生数は、単位認定を行うインターンシップと単位認定を行わないインターンシップのいずれか又は両方に参加した学生の合計。

参加率は平成 26 年度学校基本調査における各学校種の学生数を基に算出。以下同じ。

参加学生数は延べ人数。以下同じ。

### 2. 単位認定を行うインターンシップの状況

#### (1) 学校数・割合

インターンシップ※を単位認定している大学 (学部・大学院) は 566 校 (72.9%)。昨年度 542 校 (69.8%) と比較して 24 校 (3.1 ポイント) 増加。

※「特定の資格取得に関係するもの」を除く。「特定の資格取得に関係するもの」とは、特定の資格取得のために現場で実施する実習 (例: 教育実習、看護実習、臨床実習等) を指す。以下 (2) ～ (12) において同じ。

**(2)国公立別学校数・割合(大学(学部・大学院)のみ)**

国公立別では、国立大学・大学院での実施率が最も高い。

**(3)参加学生数・参加率**

単位認定されるインターンシップに参加した学生(学部・大学院)は 538,034 人(19.2%)。

うち特定の資格取得に関係しないインターンシップに参加した学生は 72,053 人(2.6%)。

昨年度 67,691 人(2.4%)と比較して、4,362 人(0.2ポイント)増加。

**(4)国公立別参加学生数・参加率(大学(学部・大学院)のみ)**

国公立別では、公立大学・大学院の学生の参加率が最も高い。

**(5)実施学年(体験学生数構成比)**

実施学年別では、学部3年・修士1年・短大1年・高専4年での参加が最も多い(特定の資格取得に関係しないもの)。

**(6)実施時期(体験学生数構成比)**

実施時期別では、各学校種とも 8月・9月(夏期休暇期間中)での参加が多い。

**(7)実施期間(体験学生数構成比)**

実施期間別では、各学校種とも 2週間未満での参加が多い(最も多いのは1週間～2週間未満)。

**(8)単位数(体験学生数構成比)**

単位数別では、各学校種とも 2単位以下での実施が多い(大学(学部・大学院)・短期大学では2単位、高等専門学校では1単位が最も多い)。

**(9)報酬等の支給(体験学生数構成比)**

報酬等の支給の有無については、各学校種とも、受入れ企業等から学生に対して支給されていない場合が多い。

支給されている場合は、大学(学部・大学院)では実費・交通費のみ、短期大学・高等専門学校では実費・交通費と賃金・報酬の両方での支給が多い。

**(10)保険の加入状況(体験学生数構成比)**

保険の加入状況については、学生個人での加入か大学で加入しているかを問わず、災害傷害保険、賠償責任保険への加入が多い。

(11) インターンシップに参加した外国人留学生数

大学（学部・大学院）で 1,602 人、短期大学で 61 人、高等専門学校で 44 人の外国人留学生が日本国内でのインターンシップに参加した。

(12) 海外インターンシップの実施状況

海外インターンシップは、高等専門学校での実施率が最も高い。実施期間は、国内でのインターンシップより長い（大学院では 1 ヶ月～2 ヶ月未満等）。

**3. 単位認定を行わないインターンシップの状況**

(1) 学校数・割合

インターンシップを単位認定していないが学生の参加状況を把握・関与している大学（学部・大学院）は 356 校（45.9%）。昨年度 392 校（50.5%）と比較して 36 校（4.6 ポイント）減少。

(2) 国公立別学校数・割合（大学(学部・大学院)のみ）

国公立別では、国立大学・大学院が最も割合が高い。

(3) 参加学生数・参加率

単位認定されないインターンシップに参加した学生(学部・大学院)は 42,331 人(1.5%)。

(4) 国公立別参加学生数・参加率（大学(学部・大学院)のみ）

国公立別では、国立大学・大学院の学生の参加率が最も高い。

(5) 学年(体験学生数構成比)

学年別では、学部 3 年・修士 1 年・短大 1 年・高専 4 年での参加が最も多い。

(6) 時期(体験学生数構成比)

時期別では、各学校種とも 8 月・9 月（夏期休暇期間中）での参加が多い。

(7) 期間(体験学生数構成比)

期間別では、各学校種とも 2 週間未満での参加が多い（最も多いのは学部・短期大学・高等専門学校で 2 日～1 週間未満、大学院で 1 週間～2 週間未満）。